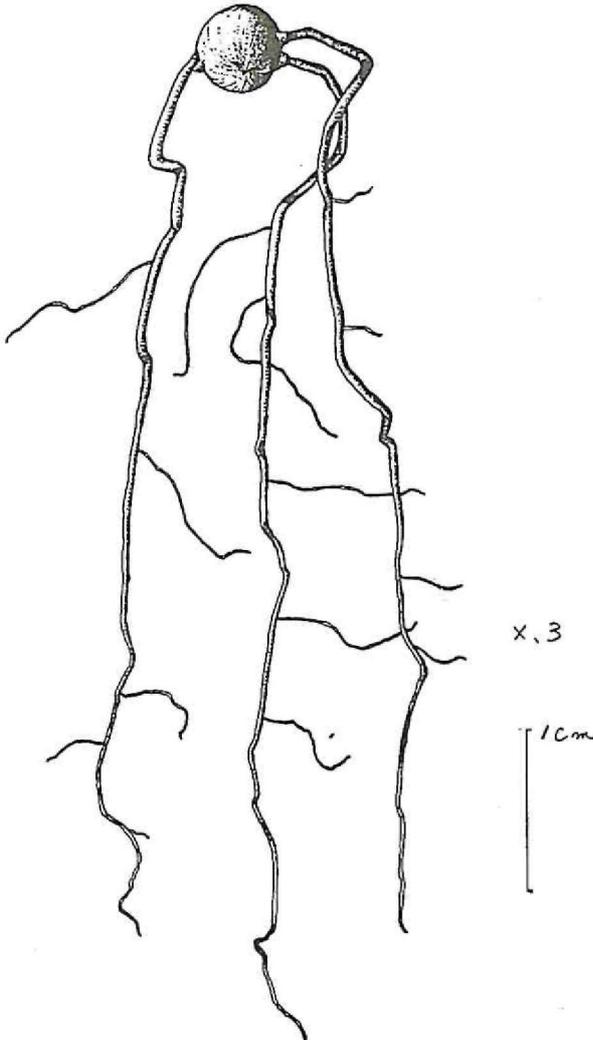


ヤブコウジの多胚現象

坪谷富男

ヤブコウジの種子発芽



解説：ヤブコウジの種子を撒き、発芽させると1個の種子から多数の根が出てくる。これは、1個の種子の中に多数の胚があり、それぞれ発根してくる。このような種子を持つ多胚現象は、ヤブコウジ以外ではミカンなど柑橘類に知られている。やがて発根した苗が育つが、どの苗が交配してできた胚であるか、見当がつかないことが多いという。それは、種子の中に無性的多くの胚が形成されることによる(石沢進)



新潟市秋葉区秋葉山

2007 7 2

加茂市狭口大袋(山地)

1988 7 19 (図)

(1988 4 播種)

表紙裏解説

ノビルの果穂は下垂か直立か 写真左:下垂、写真右:直立 (2007年6月)

ノビルの果穂が、むかごの成長末期に下垂する集団を見た(写真:左)。普通は直立している(写真:右)ように思っていたが、どちらであるか教えて頂きたい。

写真左:下垂は村上市で撮影したものであるが、そこではノビルの成長するある時期に、除草剤を散布したとみられるところである。その影響で散布直後に花穂が下垂し、そのまま直立しないで、むかごの成長末期を迎えてたと可能性もある。写真右:直立は、除草剤の散布されていないところから採取して、研究室にしばらく放置しておいたものを撮影した。この下垂の状況を観察してから、ノビルを探しに出かけて、探して観察してみたいと思ってもノビルとの出会いができない。今年のノビルの生育時期が終わってしまったためかも知れない。

[もし、ノビルの果穂が下垂することにお気づきの方に情報提供をお願いします。(2007年7月)]